

SDGs 継続可能な開発目標 【ゴール13：気候変動に具体的な対策を】

GTL燃料とは

GTLは、Gas to Liquidsの略称。

天然ガス由来の製品であり、環境負荷の少ないクリーンな軽油代替燃料です。

石油由来の製品と同等の性状を保持しつつ、軽油対比でCO2排出量を8.6%削減することができます。



【軽油】

【GTL燃料】

現在使用している車両にそのまま使用出来ます。

GTL燃料の特徴

GTL燃料は、硫黄分・金属分・芳香族分を含まない非毒性のパラフィン系燃料で、様々なメリットがあります。

①	ドロップイン燃料	特別な措置等を行わず、現在使っているオフロード車両(建設機械等)へそのまま使用可能です。
②	煤が出ない	車両汚れの原因となる煤が出ず、NOx、SOx、PM※等、排ガスの低減効果が期待でき、環境負荷が少ないです。
③	長期貯蔵安定性	GTL燃料は4年間状態に変化がなく、軽油よりも貯蔵期間が長いのが特徴です。
④	無色・無臭	無色透明の燃料で、無臭のため周囲に臭いを発しません。
⑤	優れた低温性能	寒冷地に強く、マイナス30℃の環境下でも使用出来ます。
⑥	無毒性	誤って土壤に溢しても、バクテリアが軽油よりも早く分解するため生分解性に優れていると言えます。
⑦	高セタン価	軽油より高いセタン価(自己着火のしやすさ)を有し、着火性・始動性が良いです。

※NOx…窒素酸化物。呼吸器への影響や光化学スモッグ・酸性雨の原因にもなる。

※SOx…硫黄酸化物。大気汚染や酸性雨の原因となる有毒物質で刺激臭もある。

※PM…(ばい煙や粉じんなど大気汚染の原因となる粒子状の物質)。

日高工場の10/31現在の取組みは、クローラー・フォークリフト・ラフター・発電機などを軽油からGTL燃料に切り替える事により、**5か月間**で、二酸化炭素の排出量を**2,125Kg削減**に成功しました。このペースでいけば、1年間に**5トンの削減**が可能です。運転する方々にも、無駄な空ぶかしやアイドリングストップなどで、協力をお願いします。

三成研機 日高工場・二酸化炭素排出量の削減目標 年間 : **5トン**

